

# 「小松商工会議所景気見通し調査」

## 結果報告書

調査期間 令和 4年 9月

小 松 商 工 会 議 所

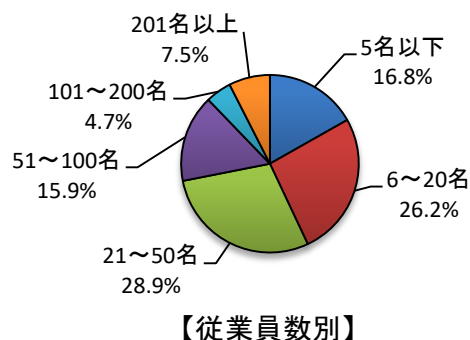
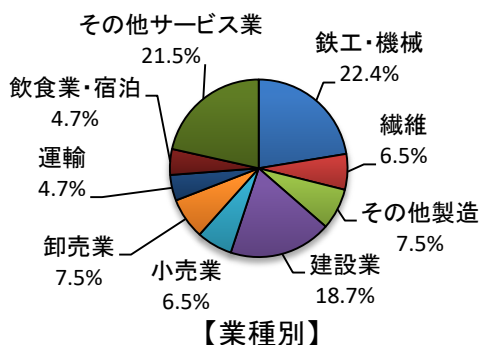
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 220社

回答企業数 107企業（回答率 48.6%）

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	合計
製造業	鉄工・機械		1	7	8	3	5	24
	繊維	1	2	3	1			7
	その他製造	2	2	2	1	1		8
建設業		1	9	9	1			20
小売業		4			3			7
卸売業		3	2	2		1		8
サービス業	運輸		1	1	3			5
	飲食業・宿泊	2	2	1				5
	その他サービス業	5	9	6			3	23
合計		18	28	31	17	5	8	107



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 ……D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 …… 令和4年度第1四半期(令和4年4月～6月)

今 期 …… 令和4年度第2四半期(令和4年7月～9月、但し9月は見込み)

来 期 …… 令和4年度第3四半期(令和4年10月～12月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景 況 感 …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高 …… DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 …… DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) …… DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

## (1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	1	5	1	0	1	0	2	2	1	1	3	1	7	5
不変	20	17	5	5	6	8	14	14	2	3	5	5	19	24
悪化	3	2	1	2	1	0	4	4	4	3	0	1	7	4
無回答												1		
総計	24		7		8		20		7		8		33	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

## 【今期：好転の理由】

例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
昨年や一昨年のような事ではない。仕入単価が上がっているなのでその分売上が上がるだけ（繊維）
昨年度中止となっていた行事が行われる事が増え、それに伴う仕事が増えつつある（その他製造）
季節的、繁忙期に入った為（建設業）
物価高で何もかも上がっていて、売りにくい。利益が少なくなっている（小売業）
仕入商品の値上げをうまく販売価格に転嫁することができたため（卸売業）
コロナの理解が進み、徐々に経済活動が進み始めた（卸売業）
夏休み、シルバーウィークなどの連休、県民割などによって顧客が忙しくなった為、必然的に卸の弊社も景気が上向きになった感がある（卸売業）
全体的に物量が増加している。倉庫需要も旺盛（運輸）
時短営業が無くなった（飲食業・宿泊）
コロナが落ち着き、客足が戻った（飲食業・宿泊）
行動制限が解除され、利用客が回復してきている（その他サービス業）
仕事内容の変化（その他サービス業）
石川県民割が作用した（その他サービス業）
受注量が増えた（その他サービス業）

## 【今期：不変の理由】

売上は少し改善しているが、物価、エネルギー高に食われている（鉄工・機械）
原材料価格の高騰が激しく、利益が縮小されている（鉄工・機械）
主力の観光バスの生産激減のまま。建機、工作機械は好調持続（鉄工・機械）
受注好調（鉄工・機械）
コマツ・三菱ともに増産が継続しているため（鉄工・機械）
建機関係好調で追随して好調に推移（鉄工・機械）
受注実績に大きな変化なし（鉄工・機械）
受注の継続的安定（鉄工・機械）
状況次第で変化するから（鉄工・機械）
会社全体の稼働時間、取引先からのデータに基づく（鉄工・機械）
コロナ行動制限解除（繊維）
販売は堅調だが、エネルギーコストの上昇が大きく、採算的には厳しい状況である（繊維）
本年4月に続いて、9月にも値上げ交渉を行っているが今のところ割と抵抗なく受け入れてもらえている。しかしそれ以上に原材料や電力・燃料のコストアップが大きく、採算性は悪化している（繊維）

原料、コスト高（繊維）
材料の高騰が続いているため、利益は落ちると予想される(落ち着けば大丈夫)（その他製造）
出荷量が減少している（その他製造）
今期も前期同様、売上高は厳しいと思われる（建設業）
工事の受注数の変化は余り感じない。市場では生産性の向上に向けて設備投資への機運が高まっているように感じる（建設業）
官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）
改善時期もあったが、コロナ期の低迷感から脱出できない状況（小売業）
主要市場にほぼ変化なく推移している（卸売業）
業界の設備投資が戻らない（卸売業）
動きは良くなってきている（卸売業）
昨年度と同水準で推移している（運輸業）
ずっと変わらない、今までと同じ感じ（飲食業・宿泊）
小松市内は水害の影響も出ているため（その他サービス業）
好材料に乏しい（その他サービス業）
リース資材の仕入値が大幅高になる（その他サービス業）
通所サービスは若干の利用減がみられるが、利用全体は続いて安定している（その他サービス業）

**【今期：悪化の理由】**

8/4 豪雨水害の被災、職場内クラスター発生による生産減（鉄工・機械）
建機の生産が計画通りではない（鉄工・機械）
感染者が出て、事業が縮小した（建設業）
公共工事の減少（建設業）
来店客減少（小売業）
販売の成績が少ない（小売業）
円安、原材料高騰・不足等で、設備投資が減速している（運輸）
県民割利用者の減少、コロナ感染拡大（飲食業・宿泊）
コロナ増加及び閑散期のため（飲食業・宿泊）
売り上げが伸びない（その他サービス業）
問い合わせが少なくなっている（その他サービス業）

**【来期：好転の理由】**

建機関係次第だが、建機以外も好調で来期も好調に推移すると想定（鉄工・機械）
例年の傾向をふまえて（鉄工・機械）
生産計画(受注)の増加（鉄工・機械）
高受注見込みの維持（鉄工・機械）
繁忙期の為（建設業）
物価高で何もかも上がっていて、売りにくい。利益が少なくなっている（小売業）
販売価格が高値安定で定着できると思う（卸売業）
繁忙期に入るため（飲食業・宿泊）
経済回復祈っている（飲食業・宿泊）
コロナの減少（その他サービス業）

**【来期：不変の理由】**

原材料の高騰がまだまだ継続しそうだから。一方で価格転嫁には時間がかかっている（鉄工・機械）
計画はあっても先は不透明（鉄工・機械）
原料費の高騰（鉄工・機械）
コマツ・三菱ともに増産が継続しているため（鉄工・機械）
受注見込みに大きな変化なし（鉄工・機械）
見通しが、不安定（鉄工・機械）
原料、コスト高（繊維）
コロナ渦の終息を見込む（繊維）
材料の高騰が続いているため、利益は落ちると予想される(落ち着けば大丈夫)（その他製造）
10月より販売単価を上げるが、値上げによる出荷の推移が読めない（その他製造）
官公庁工事発注状況について特に変わりなし（建設業）
改善時期もあるが、コロナ期の低迷感からの脱出できない状況（小売業）
県民飲食店応援食事券の延長。10月より「いい街こまつプレミアム」商品券の発行（飲食業・宿泊）
今の所、予約が少ない（飲食業・宿泊）
組織、団体の動きが鈍いままなので売上が伸びない（飲食業・宿泊）
ウイルス感染症による影響の見通しが難しく、また国際定期便の運航再開の見通しが立たないため (その他サービス業)
3年に1度の固定資産税の評価替えがあるため（その他サービス業）
売上の不変が続いているため（その他サービス業）
リース資材の仕入値の大幅高が継続している（その他サービス業）
利用の大幅減は考えられない。今のペースと変わらない見込み（その他サービス業）
大きな変化はない見通し（その他サービス業）

**【来期：悪化の理由】**

世界的な金利上昇に伴う景気の悪化、円安による材料高騰等（鉄工・機械）
高負荷の反動が出ると予測されるので（鉄工・機械）
原材料、燃料、電力費のコストUP（繊維）
販売の好調がこのまま続くとは考えにくい（繊維）
全体で、コロナで内容が悪化した（建設業）
コロナおびえて来ない（小売業）
販売の成績が少ない（小売業）
人が動いて消費が上がらないと設備が動かない（卸売業）
円安、原材料高騰・不足等で、設備投資が減速している（運輸）
円高、部品不足（その他サービス業）
新型コロナの影響で先行き不透明（その他サービス業）
物価が上昇しているので、ユーザーが買い控えしている（その他サービス業）

## (1)-2 DI値

(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	▲ 12.0	▲ 8.3	12.5
	繊維	28.6	0.0	▲ 28.6
	その他製造	0.0	0.0	0.0
	製造計	▲ 2.5	▲ 5.1	2.6
非製造業	建設業	▲ 40.9	▲ 10.0	▲ 10.0
	小売業	▲ 16.7	▲ 42.9	▲ 28.6
	卸売業	0.0	37.5	0.0
	サービス業(運輸含む)	▲ 6.1	0.0	3.0
	非製造計	▲ 17.4	▲ 2.9	▲ 4.5
全 体		▲ 11.9	▲ 3.7	▲ 1.9
改善予測		2.7	1.8	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

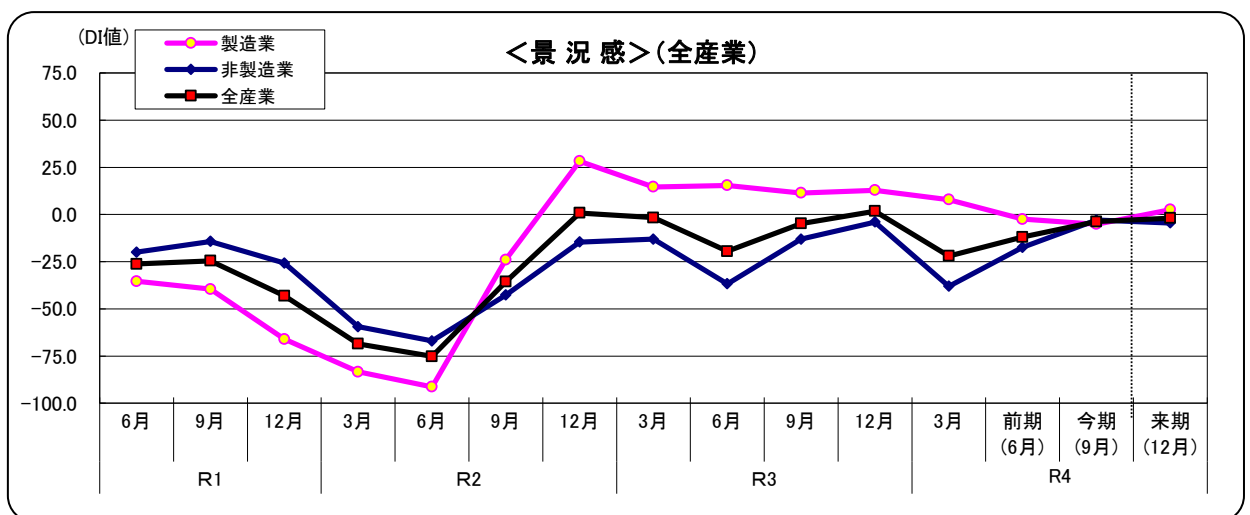
製造業については、前期 ▲ 12.0 ポイントであった鉄工・機械が、今期▲ 8.3 ポイント、来期 12.5 ポイントと持ち直してきた。一方、前期 28.6 ポイントと高い値であった繊維は、今期 0.0 ポイント、来期▲ 28.6 ポイントと急下降している。その他製造は、前期、今期、来期共に 0.0 ポイントと横ばいである。

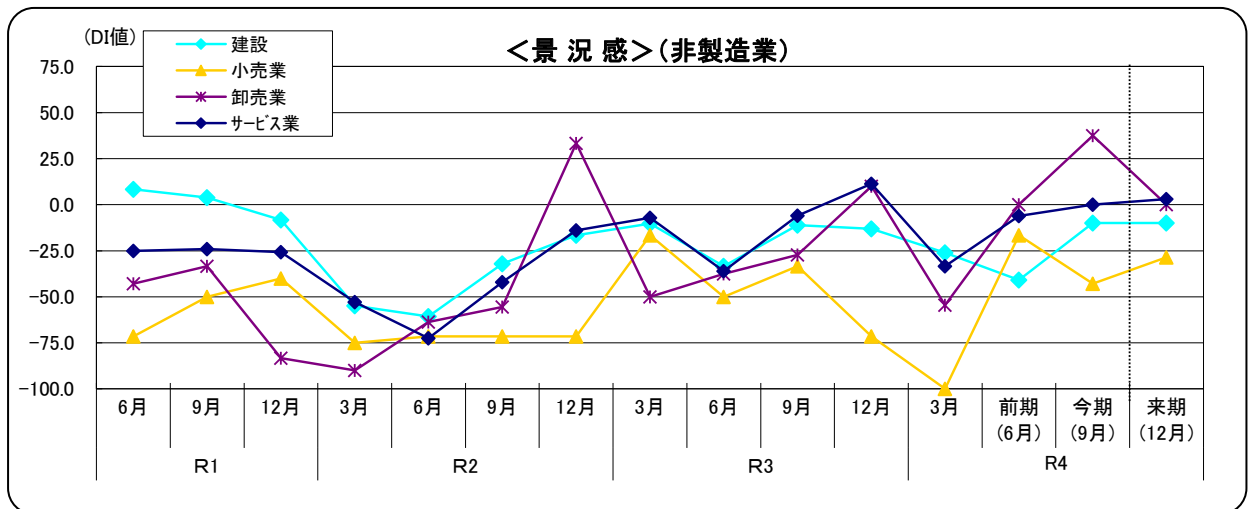
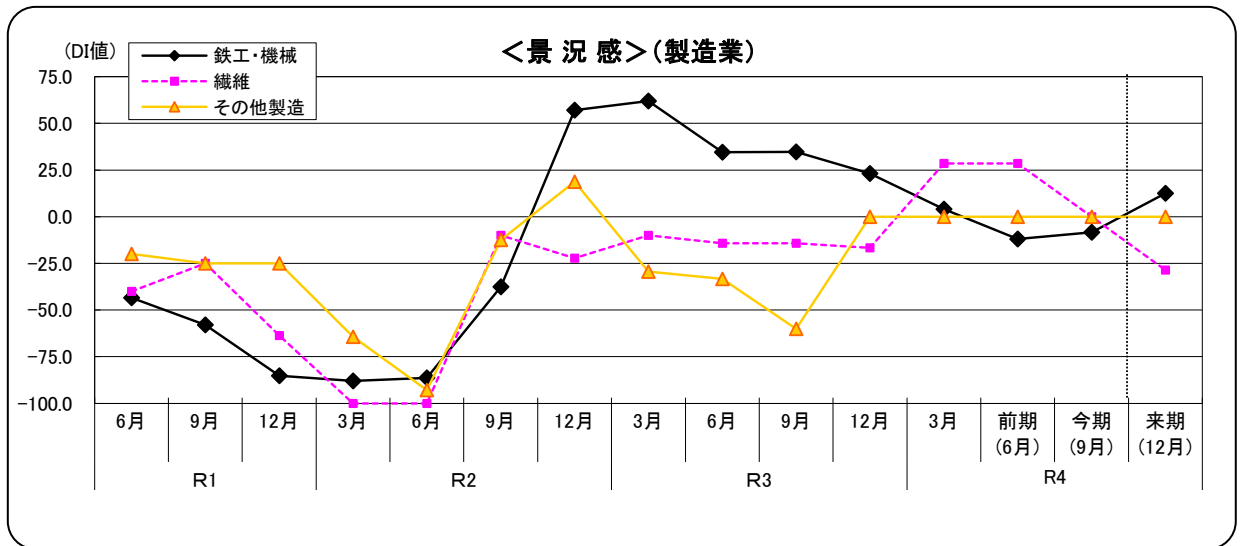
非製造業については、建設業は、前期 ▲ 40.9 ポイント、今期、来期共に ▲ 10.0 ポイント、小売業は、前期 ▲ 16.7 ポイント、今期 ▲ 42.9 ポイント、来期 ▲ 28.6 ポイント、卸売業は、前期 0.0 ポイント、今期 37.5 ポイント、来期 0.0 ポイント、サービス業は、前期 ▲ 6.1 ポイント、今期 0.0 ポイント、来期 3.0 ポイントであった。非製造業全体では、前期 ▲ 17.4 ポイント、今期 ▲ 2.9 ポイント、来期 ▲ 4.5 ポイントと少し改善傾向がみられる。

全体については、前期 ▲ 11.9 ポイント、今期 ▲ 3.7 ポイント、来期 ▲ 1.9 ポイントと、緩やかに上昇している。

コロナとの共生が進む中、まだまだ油断はできないものの、ある程度の落ち着きが見えてきた。一方、急激な円安、原油や原材料価格の高騰等による様々なものの値上げにより、売上は上がっているものの、価格転嫁しきれず利益は圧迫され、景況感の足かせとなっている。8月の大雨災害の影響も大きかった。

## (1)-3 年次別の推移





(単位:DI)

区分	今期(R4.9)			来期(R4.12)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 5.1	3	0	▼ 2.6	▼ 2	▼ ▲ 1	39社
非製造業	▲ 2.9	▲ 2	5	▼ ▲ 4.5	▼ ▲ 6	▼ 1	68社
全体	▲ 3.7	1	3	▼ ▲ 1.9	▼ ▲ 4	▼ 1	107社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(1)－(5) 景況感、売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和4年度第2四半期)の状況

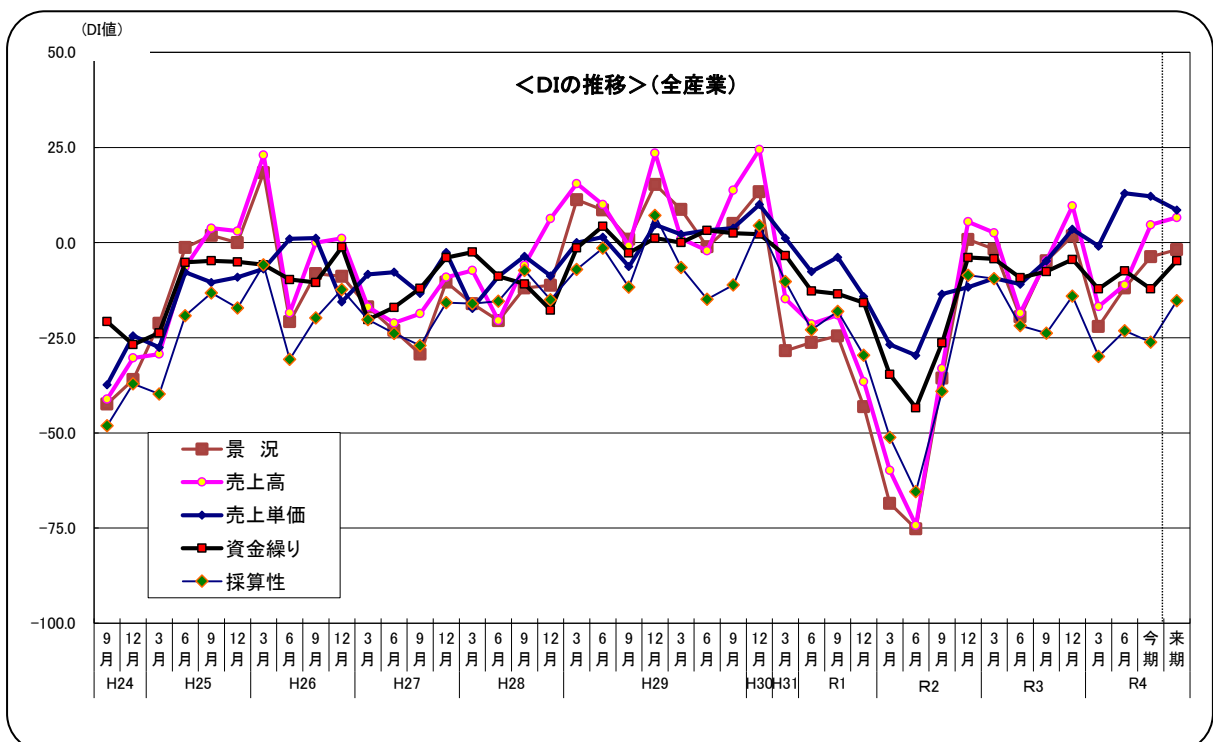
(単位:DI)

	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	▲ 8.3	4.2	20.8	▲ 4.2	▲ 20.8
繊維	0.0	14.3	57.1	▲ 28.6	▲ 57.1
その他製造	0.0	0.0	0.0	▲ 25.0	▲ 37.5
建設業	▲ 10.0	▲ 5.0	5.0	▲ 15.0	▲ 35.0
小売業	▲ 42.9	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 71.4
卸売業	37.5	62.5	12.5	▲ 12.5	12.5
サービス業	0.0	0.0	15.2	▲ 6.1	▲ 15.2
全体	▲ 3.7	4.7	12.1	▲ 12.1	▲ 26.2

来期(令和4年度第3四半期)の見通

(単位:DI)

業種	景況感	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	12.5	20.8	4.2	▲ 4.2	▲ 4.2
繊維	▲ 28.6	14.3	28.6	14.3	▲ 14.3
その他製造	0.0	▲ 12.5	25.0	▲ 25.0	▲ 37.5
建設業	▲ 10.0	▲ 10.0	10.0	▲ 10.0	▲ 30.0
小売業	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 14.3	▲ 57.1
卸売業	0.0	42.9	14.3	0.0	14.3
サービス業	3.0	12.1	12.5	0.0	▲ 6.3
全体	▲ 1.9	6.6	8.6	▲ 4.8	▲ 15.2
改善予測(今回)	1.8	1.9	▲ 3.5	7.3	11.0
改善予測(R4.6)	2.7	7.4	▲ 9.3	1.8	3.7
改善予測(R4.3)	2.7	0.0	9.3	0.8	0.0

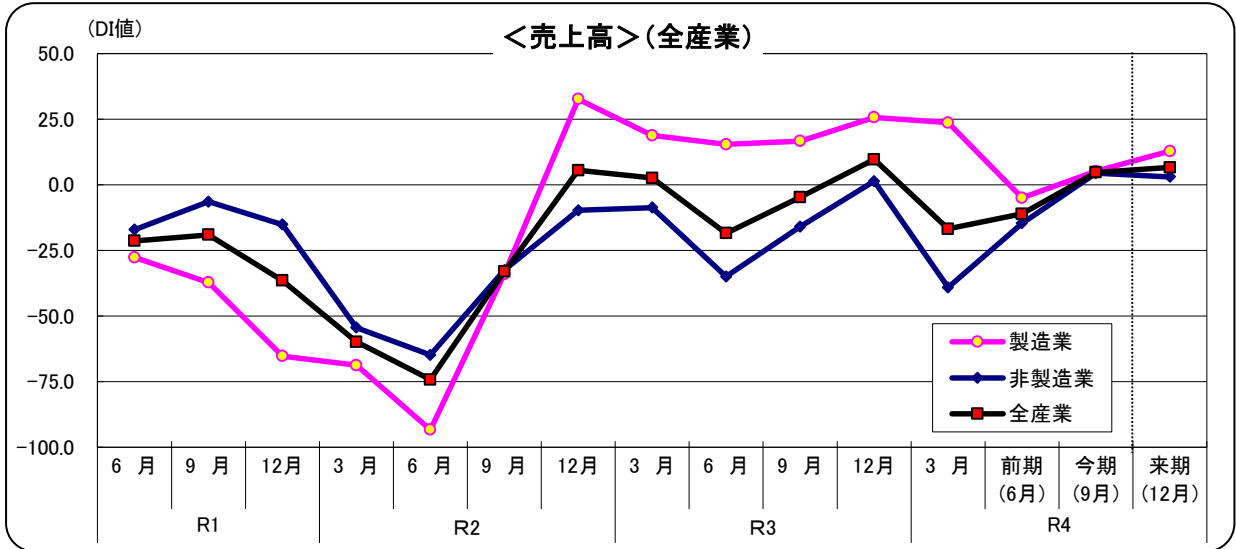




2) 売上高

(単位: DI)

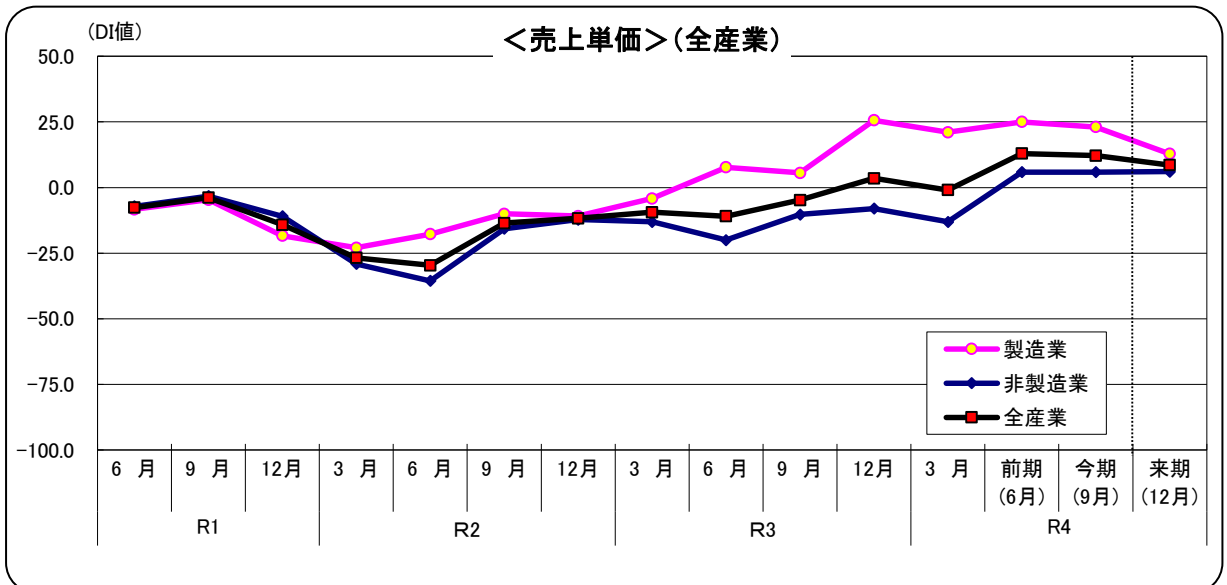
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	20.8	14.3	▲ 12.5	12.8	▲ 10.0	▲ 42.9	42.9	12.1	3.0	6.6
今期	4.2	14.3	0.0	5.1	▲ 5.0	▲ 14.3	62.5	0.0	4.4	4.7
前期	▲ 12.0	0.0	12.5	▲ 5.0	▲ 22.7	▲ 28.6	0.0	▲ 9.7	▲ 14.7	▲ 11.1



(3) 売上単価

(単位: DI)

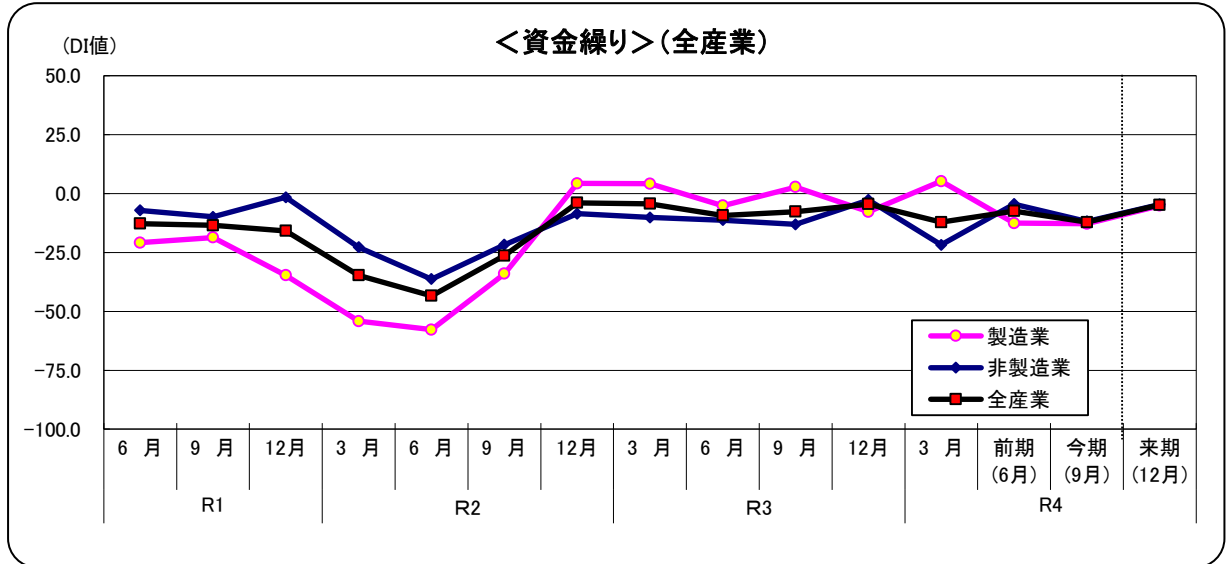
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	4.2	28.6	25.0	12.8	10.0	▲ 42.9	14.3	12.5	6.1	8.6
今期	20.8	57.1	0.0	23.1	5.0	▲ 42.9	12.5	15.2	5.9	12.1
前期	20.0	42.9	25.0	25.0	▲ 4.5	0.0	50.0	3.1	5.9	13.0



(4) 資金繰り

(単位:DI)

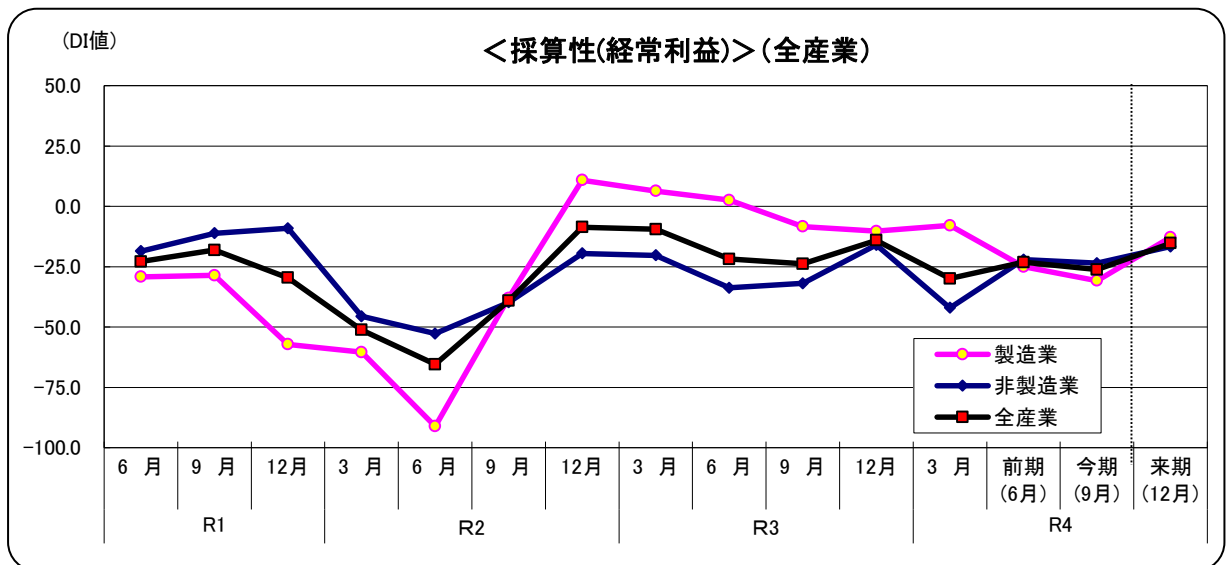
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 4.2	14.3	▲ 25.0	▲ 5.1	▲ 10.0	▲ 14.3	0.0	0.0	▲ 4.5	▲ 4.8
今期	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 12.8	▲ 15.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 6.1	▲ 11.8	▲ 12.1
前期	▲ 12.0	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 9.1	16.7	0.0	▲ 6.3	▲ 4.4	▲ 7.4



(5) 採算性(経常利益)

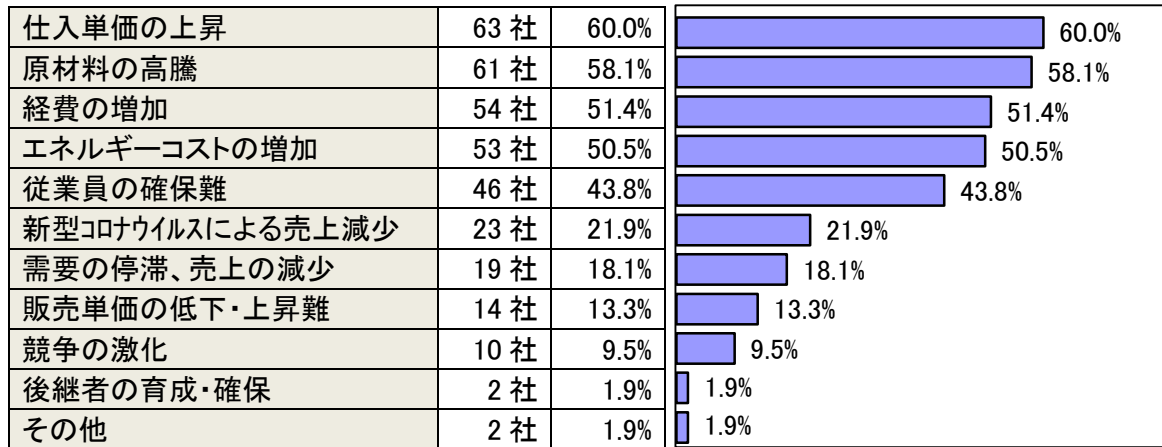
(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 4.2	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 12.8	▲ 30.0	▲ 57.1	14.3	▲ 6.3	▲ 16.7	▲ 15.2
今期	▲ 20.8	▲ 57.1	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 35.0	▲ 71.4	12.5	▲ 15.2	▲ 23.5	▲ 26.2
前期	▲ 24.0	▲ 14.3	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 45.5	0.0	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 22.1	▲ 23.1



今期(第2四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=105)



Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

働き方改革により、作業時間の短縮による生産性への課題(建設業)
特になし

	鉄工・機械 (n=24)	繊維 (n=7)	その他製造 (n=7)	建設業 (n=20)	小売業 (n=7)	卸売業 (n=8)	サービス業 (n=32)
仕入単価の上昇	58.3%	57.1%	57.1%	80.0%	85.7%	75.0%	40.6%
原材料の高騰	70.8%	85.7%	85.7%	55.0%	42.9%	75.0%	37.5%
経費の増加	50.0%	57.1%	42.9%	40.0%	57.1%	87.5%	50.0%
エネルギーコストの増加	62.5%	100.0%	71.4%	35.0%	28.6%	50.0%	40.6%
従業員の確保難	58.3%	14.3%	28.6%	65.0%	28.6%	12.5%	40.6%
新型コロナウイルスによる売上減少	8.3%	14.3%	28.6%	15.0%	57.1%	37.5%	25.0%
需要の停滞、売上の減少	12.5%	28.6%	28.6%	15.0%	25.0%	12.5%	18.8%
販売単価の低下・上昇難	8.3%	28.6%	0.0%	25.0%	14.3%	25.0%	6.3%
競争の激化	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	42.9%	37.5%	3.1%
後継者の育成・確保	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	3.1%

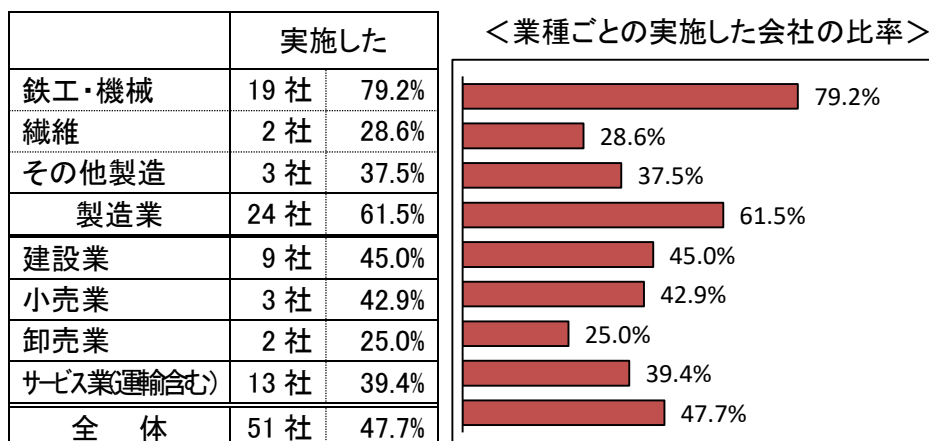
Q具体的な問題点や対応策

お客様には価格の改定依頼をしている。その他は生産性の改善活動を行っている(鉄工・機械)
全ての物が上がっている現在、経営が更に厳しくなる(鉄工・機械)
原材料の仕入単価が上昇、売上に反映しきれない(鉄工・機械)
働き方、コールタール等経費の増加(鉄工・機械)
人材難により外国人実習生やエンジニアに頼ることが多くなっている(鉄工・機械)
設備部品や材料の入手に時間がかかり、生産活動に支障をきたしている(鉄工・機械)
DXに取り組む(鉄工・機械)
働き方改革による残業の規制(鉄工・機械)
人材不足(鉄工・機械)
エネルギーコスト増大の問題。省エネ設備への切り替え、助成金使用の検討(鉄工・機械)
各企業様には現在のエネルギー状況を理解していただき価格改定を依頼(鉄工・機械)

採算性の改善、及び今後の会社の方向性（繊維）
自動車産業向けはサプライチェーンの寸断によって思うように生産が回復していない（繊維）
販売単価のアップ（繊維）
原料高で仕入れが出来にくい。資金不足（繊維）
外部的要因なので何とも出来ない（その他製造）
物価の安定を願う（建設業）
原材料等上昇による粗利益の減少（建設業）
社員（職人、営業）人手不足 女性活躍を模索中（建設業）
採用活動の強化、人材確保の強化を図っている（建設業）
収入源減少による買い控えもある（小売業）
何とか全ての値上げが止まってほしい。賃金の上昇もきつい。大型店の出店やドラッグの出店が小松は多すぎる。もう絶対来てもらいたくない。人口割合から絶対に多すぎる。しかも安売りしてくるので困る（小売業）
エネルギーの変化に伴う今後の形態変更について（小売業）
解決策なし（小売業）
行動範囲が狭い（小売業）
電力代が昨年の140万円/月から190万円近くに上昇。運送費、ガソリン代も大きく上昇（卸売業）
原料単価の高騰に歯止めが効いていない（繊維）
従業員の確保（卸売業）
従業員の確保は、派遣社員で補っている（運輸）
軽油の価格上昇が激しい（運輸）
物価のみならず最低賃金も上昇し、今後は労務費の増加が懸念される（運輸業）
原油価格の上昇及び円安により、あらゆるコストの増加（飲食業・宿泊）
仕入が色々な物で値上りしている（飲食業・宿泊）
問題点は書ききれない山積み（飲食業・宿泊）
官公需を取りこぼさない（その他サービス業）
車両、備品の価格（仕入）の高騰。様々な仕入先の情報を取り入れ、検討する（その他サービス業）
利益の圧迫（その他サービス業）
光熱費の増加、節減に努める（その他サービス業）
魅力ある会社に変えていく（その他サービス業）
業務の見える化により効率を上げる（その他サービス業）

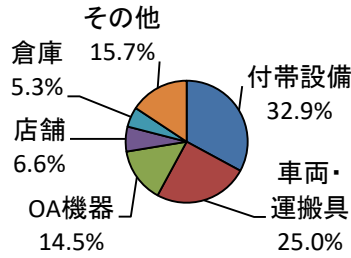
## 設備投資の動向

(1) 今年度前半(令和4年4月～令和4年9月の6ヶ月)に設備投資を



Q. 設備投資(今年度前半/内容)

付帯設備	32.9%
車両・運搬具	25.0%
OA 機器	14.5%
店舗	6.6%
倉庫	5.3%
その他	15.7%

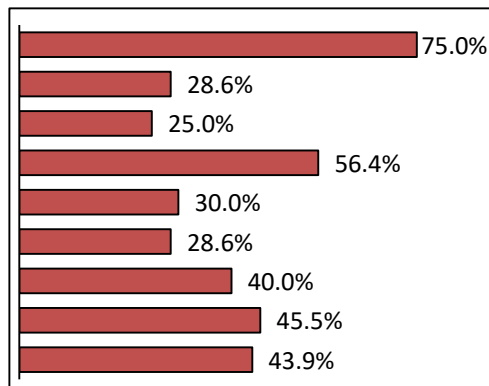


※その他……生産設備（鉄工・機械）  
 資材購入（建設業）  
 業務管理システム（その他サービス）

(2) 今年度後半(令和 4 年 10 月～令和 5 年 3 月の6ヶ月)に設備投資を

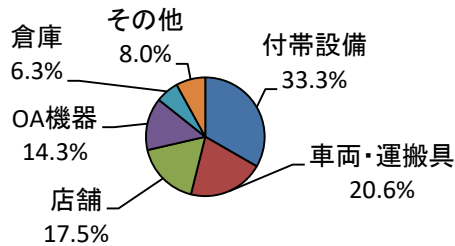
	計画している	
鉄工・機械	18 社	75.0%
繊維	2 社	28.6%
その他製造	2 社	25.0%
製造業	22 社	56.4%
建設業	6 社	30.0%
小売業	2 社	28.6%
卸売業	2 社	40.0%
サービス業(運輸含む)	15 社	45.5%
全 体	47 社	43.9%

<業種ごとの計画している会社の比率>



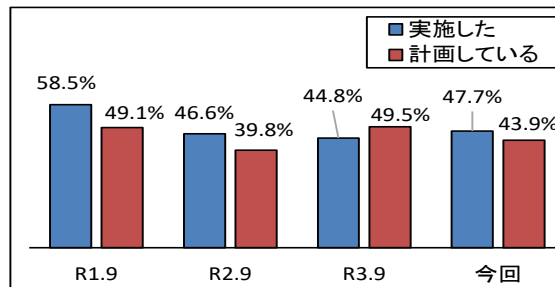
Q. 設備投資(今年度後半/内容)

付帯設備	33.3%
車両・運搬具	20.6%
店舗	17.5%
OA 機器	14.3%
倉庫	6.3%
その他	8.0%



※その他……機械設備（鉄工・機械）

	実施した	計画している
H31.3	53.4%	54.5%
R1.9	58.5%	49.1%
R2.9	46.6%	39.8%
R3.9	44.8%	49.5%
R4.9	47.7%	43.9%



「実施した」47.7%と、前回より 2.9 ポイント上昇したが、「計画している」が 43.9%と 5.6 ポイント下降している。その中で、鉄工・機械が「実施した」79.2%、「計画している」75.0%と高く、その実施・計画内容として「付帯設備」の割合が高かった。

## ■ その他、意見・要望

①商品の値上げの取組を行っているが、大企業は中々受け入れない（鉄工・機械）
②ある程度の規模の大きい企業や大企業の子会社、資本が入っている子会社に対する支援に制限を設けるべき。（例えば雇用調整助成金）そうすれば人の流動が始まる。その資金を中小零細業者に振り分けることが大切。ただし、今後も設備投資や人の採用が出来る会社とただ存続しているだけの会社の区別が必要。小松市のすべての会社の存続は不可能である。淘汰が始まっているので自主的に廃業が出来たり、M&A が実現出来たりするような施策の検討を希望する（鉄工・機械）
③電気代の経費が2倍にもなっている。政府に訴えて欲しい（繊維）
④期待していなく 特になし（小売業）
⑤円安は諸物価をあげるものの、国力を強めるチャンスでもある（卸売業）
⑥円高に少しでも戻ることを期待（その他サービス業）
⑦用水路の管理に責任者をおいて欲しい（その他サービス業）

### 会議所コメント：

#### ①②③④⑤⑥⑦

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、調査研究、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構 (ISICO) 等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

### 【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを配信しています。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。



## 議員・評議員各位

### 「小松商工会議所景気見通し調査」

### 「新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 \_\_\_\_\_

(個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸  
6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業

従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名  
5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

### 景況・業況の動向

○前期＝令和4年度第1四半期(令和4年4月～6月)

○今期＝令和4年度第2四半期(令和4年7月～9月、但し9月は見込み)

○来期＝令和4年度第3四半期(令和4年10月～12月)

	I. 今期(第2四半期)の状況	II. 来期(第3四半期)の見通し
	前期(第1四半期)と比べた 今期(第2四半期)の状況	今期(第2四半期)と比べた 来期(第3四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

### 今期(第2四半期) 直面している経営上の問題点(複数回答可)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇          | 3. 経費の増加               |
| 4. 販売単価の低下・上昇難      | 5. エネルギーコストの増加         |
| 6. 原材料の高騰           | 7. 需要の停滞、売上の減少         |
| 8. 従業員の確保難          | 9. 後継者の育成・確保           |
| 10. その他( )          |                        |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

--





**【設問9】(設問7で「選択肢3」を選択した方にお伺いします) 理由は何ですか。【複数選択可】**

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. ノウハウがない          | 2. 人手不足で手が回らない   |
| 3. 何から取り組めばいいかわからない | 4. 自社だけで取組むのは難しい |
| 5. 従業員・現場の理解が得られない  | 6. 必要性を感じていない    |
| 7. その他( )           |                  |

**【設問10】8月3日からの大雨災害により、改めて強く感じたことや必要と感じた取組みについてお聞かせください。****【複数選択可】**

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 従業員の安否確認手段の整備が必要       | 2. 緊急時の指揮・命令系統の構築が必要     |
| 3. データ等バックアップ管理の構築が必要     | 4. 事業継続のための計画(BCP)の策定が必要 |
| 5. 防災マニュアルの策定が必要          | 6. 防災教育と訓練の実施が必要         |
| 7. 非常食・飲料水の確保が必要          | 8. 施設や設備の防災対策が必要         |
| 9. 同業者等との緊急時の相互支援の取り決めが必要 | 10. 調達先・仕入先の分散が必要        |
| 11. 生産・物流拠点の分散が必要         | 12. 災害に対応した保険の加入・検討が必要   |

その他、具体的にご記入下さい。

**【設問11】国や自治体に期待する支援策や、強化・拡充を望む防災対策についてお聞かせください。【複数選択可】**

- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 防災・交通施設等インフラの維持・強化   | 2. 帰宅困難者(一時避難)対策     |
| 3. 行政による防災訓練、住民と企業の連携促進 | 4. ワンストップやプッシュ型の情報提供 |
| 5. 建築物の耐震化促進            | 6. 水害対策の促進           |
| 7. BCP策定支援              | 8. 防災関連資格の取得等の人材育成支援 |

その他、BCP策定、地震対策、水害対策、防災人材の育成等防災対策全般における課題や求める支援、行政が実施する防災対策に対するご意見や、災害時のリスクとして日頃お考えの事柄等について具体的にご記入下さい。

**原油・原材料価格の高騰、円安による影響について****【設問12】原油・原材料価格の高騰、円安の影響はありますか。**

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 影響がある | 2. 影響はない | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

**【設問13】(設問12で「選択肢1」を選択した方にお伺いします) 具体的な影響についてお聞かせください。【複数選択可】**

- |              |             |                  |
|--------------|-------------|------------------|
| 1. 売上の減少     | 2. 原材料の値上がり | 3. 加工コスト・燃料の値上がり |
| 4. 商品・原材料の欠品 | 5. その他( )   |                  |

**【設問14】原油・原材料高騰、円安に対して実施した対応策についてお聞かせください。【複数選択可】**

- |                |             |          |
|----------------|-------------|----------|
| 1. 販売価格への転嫁・依頼 | 2. 諸経費の削減   | 3. 省エネ対策 |
| 4. 仕入・調達先の変更   | 5. 商品構成の見直し | 6. 資金の確保 |
| 7. その他( )      |             |          |

**【設問15】国や自治体に期待する支援策についてお聞かせください。(複数回答可)**

- |                |                          |                |
|----------------|--------------------------|----------------|
| 1. 一時支援金などの給付金 | 2. 金融支援の継続・拡充            | 3. 各種補助金の追加・拡充 |
| 4. 便乗値上げの監視強化  | 5. サプライチェーン全体での価格転嫁意識の醸成 |                |
| 6. その他( )      |                          |                |

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

■下記アドレス・QRコードからも回答可能です。 ※下記からご回答の際は、次回調査よりメールでのご案内となります

【令和4年度第2四半期景気見通し調査】⇒ <https://forms.gle/TvhmMk6A5WHLJQnB7>**回答締切:9月29日(木)必着 (FAX:21-3120 までご返信ください)**